

令和7年度第2回学校運営協議会報告

県立浜松特別支援学校

1 日時 令和7年11月5日（水） 午前9時30分から11時30分まで

2 出席者

(1) 委員

- 特定非営利活動法人 くらしえん・しごとえん 代表理事 鈴木 修
- 江之島町自治会長 鈴木美佐男
- P T A会長 渥美 祥子
- 浜松学院大学現代コミュニケーション学部教授 笹原 康夫
- 南障がい者相談支援センター センター長 大場 拓弥
- 浜松市防災学習センター センター長 藤田 具克

(2) 教職員

校長、副校長、教頭、事務長、小学部主事、中学部主事、高等部主事、教務課長、進路支援課長、情報教育課長、C S担当

3 報告

(1) 開会

【校長挨拶】

- ・P T A活動では、面談後の草取りや運動会のテント立て等、「できることをできるタイミングで」を合言葉に積極的に活動してくださり、大変ありがたい。
- ・江南中学校の体育大会に本校の中学部が玉入れに参加し、一緒に競技を行った。ここに至るまでには、自治会長さんのお力添えが大きい。今後も交流学習を推進する。
- ・現場実習の評価表作成について、委員の皆様に御協力いただき感謝している。
- ・今、県で力を入れていることに静岡県版インクルーシブ教育システムがある。本校も共生・共育の実現に向けて、さらに取り組む。

(2) P T A

- ・P T A活動がやらされているのではなく、やってよかったと思う、無理のない持続可能な素晴らしい取り組み。いろいろなところで発表してほしい。
- ・P T Aの負担を減らしながら参加者を増やす仕組みづくりや、ガントチャートやポイントカードによる業務や活動の可視化などの工夫が素晴らしい。
- ・参加者の負担を軽減する取組の一つに、集合する回数を減らして、会議や活動をまとめて行うという方法がある。
- ・応援隊の参加者が増えたこと以外に役員が増えた等の効果はあるか。
→役員の立候補者が増えている。
→過去に役員を経験した方が、応援隊という形で委員会活動に再び参加する等、つながりが見られる。



(3) 熟議

ア 各グループの報告より

① 学習・防災応援隊

テーマ 「応援隊募集の募集地域の拡大について」

- ・前期の応援隊募集チラシの配付と応援隊活動参加状況について、募集チラシの配付先を増やしたことで応募者も微増したことを共有した。傷害保険（地域、大学生を除く）の負担や大学生の自家用車使用について話題になり、保険は本校で対応することや自家用車使用可の方向が望ましい等の意見が出された。
- ・今後の応援隊募集の中で、特に江之島クリーン作戦について五島地区、大学、江南中学校、放課後ディサービス等へ募集チラシを配付して参加を呼び掛ける。進めるに当たり、自治会長を始めとする学校運営協議会委員の皆さんのが募集の呼び掛けに御協力いただけたことであった。また、クリーン作戦の定例化や、土曜日に授業日としてクリーン作戦を実施する等、次年度以降に向けたアイデアも出された。

② 進路・福祉応援隊

テーマ 「進路・福祉に関する指導の充実について」

- ・今年度、西部地区の特別支援学校が、一律で新様式の実習評価表を使用した。今後は、実習先からの意見を踏まえ「評価表記入の視点」について整え、実習評価表と合わせて実習先へ渡したい。「採用の意向」の部分については、文言に「雇用可否」とあるが、企業としてはリスク管理も含め「採用の可能性」等の言葉が良いとのことであった。学校での指導の観点、育成の観点、企業が評価表を活用する等、複合的に捉えて、再検討の余地がある。ハローワーク等からも御助言をいただきつつ、再度時間をとって検討していく。
- ・新しい障害福祉サービス「就労選択支援」が開始された。就職する生徒・福祉サービス利用者それぞれの生徒・保護者へ向けて、説明する機会を設けたい。卒業後は保護者が一步引いて、お子さんの背中を押してあげられるとよい。機関相談支援センター、市の障害福祉課に協力していただきながら調整をしていく。

(4) 先輩学参観

「CTC ひなり株式会社」と「スターバックスコーヒージャパン株式会社浜松志都呂店」で働く本校卒業生と高等部の企業就労希望の生徒による先輩学講座を委員が参観した。

令和7年度第3回学校運営協議会 令和8年2月26日（木）午前10時～